

ボードゲームで考える社会の平等と不平等

金沢大学 KUGS高大接続プログラム Liveセミナー

苅谷 千尋

Wednesday, 17, Dec, 2025



I. イントロダクション

お願い

- オンライン参加者はビデオオンでご参加下さい

1. 本日のスケジュール

前半

- 14:00-14:05 趣旨説明と目標
- 14:05-14:10 自己紹介
- 14:10-14:20 グループワーク①
- 14:20-14:40 「モノポリー」「不平等なモノポリー」ルール説明
- 14:40-15:30 実践「不平等なモノポリー」第1ラウンド

休憩

- 15:30 休憩（10分）

後半

- 15:40-16:30 実践「不平等なモノポリー」第2ラウンド
- 16:30-16:45 グループワーク②
- 16:30 まとめ
 - 高大接続プログラム「大学での学び」レポート
 - 感想
 - アンケート
- 17:00 終了

2. 自己紹介：苅谷

- 専門：政治思想史
 - 18世紀イギリスの議会政治
 - 18世紀におけるレトリック受容
 - 18世紀における主権概念と国際法、帝国

3. 趣旨説明

Liveセミナー

一般的なボードゲームは、全員が平等な条件でゲームを始めます。しかし、このボードゲーム（「不平等なモノポリー」、フランスで教育目的に作られたもの）は違います。一部のプレイヤーは、ゲームの最初から勝つ見込みがありません。他のプレイヤーよりもコマの進みが明らかに遅いプレイヤーもいます。すなわち、最初に引いたカードによって「イージーモード」か「ハードモード」が決まってしまうのです。これほど不平等なゲームがあるでしょうか。ですが、この不平等さは現在の社会を反映するものです。

セミナーでは、ゲームとディスカッション、簡単なレクチャーを通して、政治や社会のあり方について考えます。

ボードゲーム「不平等なモノポリー」を開発した理由：今こそ、ルールを変えるとき

「どうすれば、深刻な格差を伝えつつも、ただ絶望させるのではなく、行動につなげられるのか？」——これが、今あなたの手元にあるこのツールキット〔「不平等なモノポリー」〕を作るきっかけとなった問いでした。社会的正義を求めるならば、私たちの社会に存在する分断を明るみに出さなければなりません。それによって、一部の人々が目を背けたがるような不公平さが浮き彫りになることもあるでしょう。例えば、裕福な人と貧しい人の間にある圧倒的な格差、今なお根強く残る性差別や人種差別などが挙げられます。しかし、ただ事実を伝えるだけでは、「どうせ何をしても変わらない」という諦めを助長してしまう恐れがあります。特に、すでに多くの困難に直面している人々が「こんなに不平等なら、自分には何の希望もない」と感じてしまえば、問題を解決するどころか、むしろ逆効果になってしまうのです。

不平等や差別について意識を高めることは、とても繊細な作業であり、私たちは常にバランスを取りながら進まなければなりません。「やる気さえあればできる」という単純な考え方陷入ると、失敗をすべて個人の責任に押し付けてしまうことになります。一方で、「不平等という仕組みによって、恵まれない人々は最初から報われない運命にある」と決めつけるのも避けなければなりません。こうした極端な考え方から抜け出すために、私たちのツールキットでは、ゲーム、討論、深い思考の機会を提供できるさまざまな教材を用意しています。話し合いを通じて、普段あまり考えないような問い合わせができます。たとえば、「人生の成功とは何か？」 「お金持ちとはどういうことか？」 「私は恵まれているのか？それは誰と比べて？」といった問いです。

社会の中での役割に対する固定観念が、不平等を生み出す一因となっています。私たちは、「違う未来もあり得る」ということを伝えたいのです。統計の数字の裏には、実にさまざまな生き方があるということも。そして、私たちは周りから支えを受けることができるということも。みんなで力を合わせれば、社会のルールを変えることだって可能なのです。実際のところ、人は決して一人だけで成功したり、失敗したりするわけではありません。

不平等観測所 (Observatoire des inégalités) コンスタンス・モニエ (ディレクター)

II. グループワーク①

平等と不平等

- 不平等だと感じるのはどんなときですか?
 - 実体験
 - 社会
- 平等と感じるのはどんなときですか?
 - 実体験
 - 社会

- ・日本の社会は平等だと思いますか？不平等だと思いますか？

大学の行方

(1) 日本の平等と不平等

- ・「教育格差を考える 海城中学入試問題から」（朝日新聞、2025年3月20日）
 - 松岡亮二（教育社会学）
 - 本田由紀（教育社会学）
- ・「ハーバード大学、世帯年収3000万円まで学費免除へ 多様性確保」（日本経済新聞、2025年3月18日）

(2) 大学での学び

- ・情報×方法×問題意識あるいは知的好奇心
 - 情報や方法は勉強である程度どうにかできるが・・・
- ・知性：グラデーションを認識する力（善か悪か、ゼロかイチかではない）
- ・大学は中間地点

III. 「モノポリー」ルール説明

1. 「（オリジナル）モノポリー」ルール説明

- ・物件を占有し、他のプレイヤーを破産させるゲーム
 - 自分が所有している物件に相手が止まるとお金を奪える
 - 相手が所有している物件に自分が止まるとお金を取られる
- ・動画
 - 公式動画（タカラトミー）via YouTube
 - ボドゲ紹介チャンネルvia YouTube
- ・ニーアル・ファーガソン『マネーの進化史』

このゲームを作ったそもそもその動機は、ひと握りの地主が着地人から徴収した地代で儲ける、社会制度の不平等を暴くところにあった。〔略〕現実の世界は辛くとも、モノポリーで遊んでいるときは、通りをまるごと買い占める夢さえ見られる。このゲームが教えてくれるのは、最初の考案者が意図した点とはまったく逆で、「不動産を所有するのは賢い」ということだ。持てば持つほど、カネになる。とくに洗脳酒では、被資するなら家屋に勝るものはないことが、万人の認める真理になった（ファーガソン、ニーアル・仙名紀（訳）（2015），319-322）。

2. 「不平等なモノポリー」ルール説明

- ・基本的なルールは「（オリジナル）モノポリー」と同様
- ・主な変更点は、プレイヤーの初期条件が大きく異なり、また、ゲーム内のルールもプレイヤーによって異なる点
- ・動画
 - 公式動画（全体）via YouTube
 - 公式動画（児童）via YouTube

1. プレイヤー

- 3つのカテゴリーに分かれており、サイコロの数が違うなど、ゲームのルールがそれぞれで異なります

- A群=「上級国民」
- B群=「中流階級」
- C群=「下級国民」

ゲームは、各プレイヤーが異なる財産（金銭や財産）を持っている状態でスタートします。銀行係は、キャラクターカードに記入されたカテゴリーと性別に基づいて、各プレイヤーの財産を分配して下さい。

2. ゲームの手順

1. このゲームは、社会で見られる不平等をテーマにしています。そのため、最も裕福な白人男性のキャラクター（すなわち、Aurel）を引いた方からスタートします。
2. 以降の順序は時計回りです

3. あなたのターン

1. 各プレイヤーはカードに書かれたサイコロの数を振って下さい。つまり、あるプレイヤーにはチャンスが多く、他の人には少ないのです（カテゴリーCは、サイコロを一つしか振れません）。それは不公平では？はい、分かっています
2. サイコロの出目だけ自分の駒を時計回りに進めて下さい。**注意**：障がいをもつプレイヤーは、サイコロの目をそれぞれ2点ずつ減点して下さい
3. 止まったマスが、あなたが何をしなければならないかを決めます（下記「マスの意味」を参照）
4. サイコロでゾロ目（ふたつとも同じ目）が出た場合、もう一度、サイコロを振ってください。止まったマスでアクションを行ったうえで、その後、もう一度、サイコロを振ります（ステップ1～4を繰り返す、ということです）。ただし、ゾロ目を3回以上出すと、すぐに「刑務所に入る」ことになります（ただし、Aカテゴリーのプレイヤーを除く）¹
5. 自分の順番が終了したら、左隣の人にサイコロを渡して下さい

4. マスの意味

1. **月初め (DÉBUT DU MOIS)** : 月初めのマス目に停止またはそこを通過すると、銀行から給料が支払われます
2. **駅 (Gare)** : 駅は移動するために使います（オリジナル・モノポリーは駅は資産ですが、「不平等なモノポリー」ではそうではありません）。自分が選んだ別の駅に行くことができ、戻ることはできません。最寄りの駅に行くには20ユーロ、2番目の駅には40ユーロ、3番目の駅には60ユーロを銀行に支払います（例：あるプレイヤーがモンパルナス駅に止まった場合、20ユーロでリヨン駅に行くことができ、40ユーロでノール駅、60ユーロでサン・ラザール駅に行くことができます）。「月初め」マスを通過した場合、給料を受け取ります。**注意**：障害を持つキャラクターは駅を利用できません。すなわち、駅マスに止まても意味がありません。
3. **刑務所に入る (ALLEZ EN PRISON)** : このマスに止まった場合、自分のコマを「刑務所」のマスに移動しなければなりません。給料は受け取れません。あなたのターンは終了です。サイコロを次のプレイヤーに渡して下さい。**注意**：ルーカスとモハメッドが「刑務所に行く」のマスを通過するとき（通常は止まる必要はありません）、彼らは警察のチェックを受けるために止まらなければならず、その順番はそこでストップします。彼らは刑務所には行く必要はありません。

- ませんが、次の順番が回ってくるまで待たなければなりません（このルールは確かに滑稽ですが、人種的プロファイリングと偏見の問題を提起することができます）
4. **面会中 (SIMPLE VISITE)** : ここに止まっても刑務所には行きません。自分のコマを「面会中 (SIMPLE VISITE)」のエリアに置いて、何も起こりません。
 5. **イベント (ÉVÈNEMENT)** のマスに止まつたら、カードを1枚引き、全文を声に出して読みます。その後、カードに書かれたアクションを実行してください。アクションを終えたら、そのカードを自分のそばに置き、次のプレイヤーに順番を譲って下さい。
 6. **再分配 (REDISTRIBUTION)** : Aカテゴリのプレイヤーが「再分配 (REDISTRIBUTION)」のマスに止まるか通過すると、Cカテゴリのプレイヤー全員にそれぞれ100ユーロを支払わなければなりません。ただし、電車を利用すればこのマスを避けることができます。Bカテゴリのプレイヤーは再分配に参加しません。また、「社会的上昇 (Ascension sociale)」のイベントカードを持っているプレイヤーも同様です。
 7. **土地 (PROPRIÉTÉ, 地名が印刷されているマス)** : 土地は22箇所あります。ここに駒が止まり、**まだ所有者がいない場合は、ボードに印刷されている価格で銀行からその土地を購入できます**。購入したプレイヤーは、所有権を示す権利書を受けとり表を向けて自分の前に置きます。もし、**そのプレイヤーがその土地を買いたくないと宣言した場合は、銀行によって競売にかけられ、もっとも高い金額を提示したプレイヤーに販売されます**。ボードに印刷されている価格で購入を拒否したプレイヤーも競売に参加できます。入札価格(売りに出される時の最初の価格)は、いくらからスタートしてもかまいませんが、通常は印刷されている額の半分からはじめます。また、駒の止まったマスにすでに所有者がいた場合は、**その土地のレンタル料を所有者に支払わなければなりません**。

土地に関する権利書の見方

- ・あるプレイヤーが、他のプレイヤーの所有している土地に止まつたら、所有者に権利書にあるレンタル料を支払います
- ・**同色の土地を同じプレイヤーが独占して所有している場合は、止まった土地の2倍のレンタル料を支払わなければなりません**
- ・ただし、その土地が抵当(抵当の項目を参照)に入っている場合は、レンタル料は徴収できません
- ・もし所有者がレンタル料の請求を忘れても、次の次のプレイヤーがサイコロを振る前までに請求すれば、レンタル料は受け取れます。次の次のプレイヤーがサイコロを振ってしまうともうレンタル料は請求できません

IV. 実践「不平等なモノポリー」

- ・「不平等なモノポリー」第1ラウンド
- ・「不平等なモノポリー」第2ラウンド
 - 第1ラウンドと第2ラウンドではカテゴリを替えましょう

V. グループワーク②

1. 「不平等なモノポリー」を体験した感想を自由に言い合おう
2. 日本に置き換えたとき、どのようなプレイヤーを登場させるべきだと思いますか？
3. 日本に置き換えたとき、どのようなイベントがあると現代の日本社会を表現できると思いますか？

1. 政治学者の考える平等と不平等

(1) マイケル・サンデル：能力主義 vs 貴族主義

あなたが貴族社会の上位層に生まれていれば、自分の特権は幸運のおかげであり、自分自身の手柄ではないとわかるだろう。一方、努力と才能によって能力主義社会の頂点に登り詰めたとすれば、自分の成功は受け継いだものではなく、自ら勝ち取ったものだという事実を誇りにできる。貴族社会における特権とは異なり、能力主義社会における成功は、自力で地位を手にしたという達成感をもたらす。こうした観点からすると、貴族社会よりも能力主義社会において裕福であるほうが好ましい。同様の理由で、能力主義社会において貧しいことは自信喪失につながる。封建社会で農奴の身分に生まれれば、生活は厳しいだろう。だが、従属的地位にあるのは自分の責任だと考えて苦しむこともないはずだ。また、自分が苦役に耐えながら仕えている地主は、自分より有能で才覚があるおかげでその地位を手に入れたなどと思い込んで悩む必要もない。地主は自分よりもその地位にふさわしいわけではなく、運がいいにすぎないことがわかっているはずだからだ。対照的に、能力主義社会の最下層に落ち込めば、どうしてもこうした考えにとらわれてしまう。すなわち、自分の恵まれない状況は、少なくとも部分的には自ら招いたものであり、出世するための才能とやる気を十分に発揮できなかった結果なのだと。人びとの出世を可能にし、称賛する社会では、出世できない者は厳しい判決を宣告されるのである（サンデル、マイケル・鬼澤忍（訳）（2021），210-211）。

(2) ジヨン・ロールズ：無知のヴェール

原初状態はもちろん、実際に起こった歴史的事態としてみなされるものではないし、ましてや文化が生まれる原始的条件でもない。それは、正義の一定の構想を導くために特徴付けられる、純粹に仮想的な状況として理解されるものだ。この状況の本質的特徴には、いかなる者も社会における自分の地位、すなわち階級的立場ないし社会的地位を知らないということ、いかなる者も知性や強さといった自然的資産や能力の配分上の無形の財産について知らないということなどが含まれる。私は、当事者が自身の善の構想やおのれに特有の心理的な性向についても知らないということさえも仮定する。正義の原理は、無知のヴェールの背後で選ばれるのである。このことが原理の選択の際に、誰もが自然のチャンスの結果や社会環境の偶然性によって利益ないし不利益を被らない、ということを保証するのである。すべての人間が同じような状況に置かれ、誰も自分の特定の条件に有利なように原理を企図できないがゆえに、正義の原理は公正な合意や交渉の結果となる。というのも、全員の相互の関係が対称性を有しているという原初状態を所与とすれば、こうした初期状況は道徳的人格とされる諸々の個人にとって公正なものとなるからだ。ここで道徳的人格とは、自分自身の目的をもち、正義感覚を發揮うることが想定される合理的存在のことである（ロールズ、ジョン・川本隆史・福間聰・神島裕子（訳）（2010），18）

2. 社会学者の考える日本の分断

吉川徹『日本の分断：切り離される非大卒若者たち』

なかでも現代日本の特徴である大卒層と非大卒層の分断の深刻さに注目。同世代の5割を占め、日本社会の底堅さを支える非大卒若者（レッグス）を社会の宝と捉え、配慮と共生を図ることの重要性を訴える。

しかし、この図のような分断社会日本の実像は、多くの人にはみえていません。それは、現代日本社会が、大学に行かずに20歳前後で社会に出た若い男性労働者たちを、直視していないからです。そもそも、わたしたちは彼らを呼ぶ名前をもっていません。名前のないものごとは、可視化することも、問題性を論じることもできません。〔原文改行〕現代日本は、学歴分断を言葉にすることをタブーとみなしている社会なのですから、社会集団としての彼らに、固有の呼び名がないのは当然といえば当然かもしれません。考えてみると、「非大卒」というのは、本来望まれる大学進学をしなかった人たち……という消極的な意味しかもたない言葉です。まさに、極めつきの「〇〇じゃないやつ」なのです。〔略〕レッグス(脚)という言葉には、日本社会を下支えしている人たちという含みもあります。〔225〕わたしたちが直面している分断とは、日本社会の1割強にあたるこのレッグスたちが、まさに「足切り」されようとしているという問題なのです。〔略〕ここで、現代日本の時代の流れのなかでの、レッグスたちの位置づけを論じ直しておきましょう。そうしなければ、レッグスという言葉は、ことによると、あらぬ方向に向かって一人歩きしかねません。〔原文改行〕まず、彼らが世代を超えて再生産される筋道をたどっておきます。〔原文改行〕現代日本社会の現役世代の夫婦の内訳は、大卒同類婚が約35%、非大卒同類婚が約35%で、合わせてほぼ7割、夫と妻の学歴が異なる夫婦は全体の約3割にとどまります。学歴の世代間関係をみると、レッグスたちの両親は、8割以上が同じ非大卒、しかもほとんどが非大卒同類婚であり、ここには強い学歴再生産傾向をみることができます。〔原文改行〕つまり、レッグスたちは、非大卒同類

婚の両親を出自とし、非大卒学歴の世代間継承を経て、自らも非大卒同類婚をして、その子どもたちも再び非大卒層となる……という家族形成の流れのなかにあるのです。こうした学歴再生産の流れは、大卒層のほうでも同様にみられます（吉川徹（2018），221-226）。

VI. まとめ

1. 高大接続プログラム「大学での学び」レポート

- このプログラムは金沢大学KUGS高大接続プログラム（大学での学び）の対象です
 - KUGS高大接続プログラム（の修了）
 - 「KUGS特別入試」の出願資格要件
- 締め切り：開催日(本日)から**1か月以内**
- 特別入試に興味がある方は公式サイトをご覧下さい

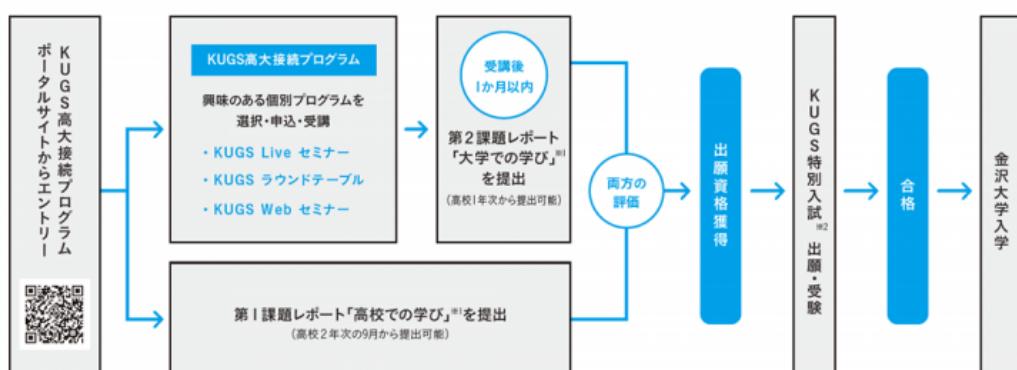
課題内容

- 題名：「あなたが受講した個別プログラム名」
- 本文：
 - 「受講した個別プログラムの要約」
 - 「受講して気づいた課題(問題)」
 - 「その課題(問題)を解決するために必要と思われる方策」について、あなた自身の考えを根拠に基づき具体的に記してください。

注意事項

- 要約はこのセミナーに参加していない者が読んでもわかるように書こう
- 感想文にならないように注意しましょう
- 受講して気づいた課題**を明確に書けるかどうかが鍵です
- 課題は内容にかかわる社会的な事柄（自分の事柄ではない）にしましょう

高大接続プログラム フローチャート



フローチャート

2. 感想

3. アンケート

-



提出先：Microsoft Forms

• 締め切り：明日（3月23日（日）23時59分）

参考文献

- OECD (2024) 「OECD data explorer」 . Available at: <https://www.oecd.org/en/data/datasets/oecd-DE.html>.
- Lyle Scruggs (2022) 「Comparative welfare entitlements project data set, version 2022-12」 . Available at: <http://cwep.us/>.
- サンデル,マイケル・鬼澤忍(訳) (2021)『実力も運のうち:能力主義は正義か?』,早川書房.
- ファーガソン,ニーアル・仙名紀(訳) (2015)『マネーの進化史』,早川書房.
- ロールズ,ジョン・川本隆史・福間聰・神島裕子(訳) (2010)『正義論(改訂版)』,紀伊國屋書店.
- 吉川徹 (2018)『日本の分断:切り離される非大卒若者たち』,光文社.
- 経産省若手プロジェクト (2017)『不安な個人、立ちすくむ国家』,文藝春秋.

-
1. ゾロ目が連続して出続けることにより、運の要素が過剰に強調されてしまいます。このルールを設けることで、あまりにも運が偏りすぎることを避け、プレイヤー同士の戦略や交渉がもっと重要なようにしています②